

夏は富良野でやっています

星野 悠実

S E 蕎麦カフェの扉の開閉チャイム

良二・真美 ありがとうございますございました！

S E 食器を洗う音

良二 ふー、やっと一段落。やっぱゴールデン
ウィークはお客さん多いねー。あれ？ 真美、
なんか、怒ってる？

S E 一段と大きくなる食器を洗う音

真美 別にー

良二 いや、明らかに怒りオーラ出てるけど：

：

真美 あのさ、もっと頼ってくれてもいいんじゃないかなって。

良二 ほんと、助かってる。会社勤めもあるのに、休みにはお店手伝ってもらって申し訳ないって思ってるよ

真美 だったら、もっと厨房も手伝わせてよ。

蕎麦つゆの準備とか、薬味を切ったり盛付けたりとかさ！

良二 そのうち、ね。いや、ホールを担当してくれるだけでもほんと感謝してるよ

良二（モノローグ、以下M） 俺、武田良二は、三年前に食品メーカーを早期退職し、「蕎麦&カフェ TAKE（タケ）」を始めた。自宅を改装し、こだわり抜いて作り上げた、いわば「俺の城」。平日は1人で回していて、土日は妻の真美がやれる限り手伝ってくれている

真美 まあ、どうせ私は完璧主義者の良ちゃんと違って雑だし、仕上がりが気に入らないってというのはわかるけど……

良二（M） 俺は緻密に計算し、イメージ通りにコツコツと築き上げていくのに喜びを感じるタイプ。この店は、将来的には2人でやっっていくつもりだけど、真美の手が入ると、完成度が下がるっていうか……あ、これ、絶対言えないけど……

S E スマホ 着信音

良二 あ、富良野の会長さんだ、何だろう……

S E スマホ「応対」ボタン

良二 もしもし、こんにちは！……え？ そう
なんですか？もう大丈夫ですか？ ……は
い、来週の水曜から1泊の予定で……え？
いいですけど……いや、それは……はい……
じゃ、まあ、その時に、はい……はい、着い
たらそっち寄ります

真美 何？ どうかした？

良二 会長さん、肺炎になりかけて入院してた
んだって。いつ行っても肉ガツツリ食べて元
気そのものだったのに。でも確か今年で75
だったはず。大酒飲みだしな。やばいよね
真美 良ちゃん、日ごろお世話になってる割に
は、ズケズケ言うよね

良二 いや、あっちはもつとガンガン来るから。
で、来週俺富良野に蕎麦取りに行くって言う
てただろ

真美 あー、倉庫の玄蕎麦を、こっちに送るよ
う段取りしてくるんでしょ

良二 そう。で、こっち来るなら店の話したい
から俺のところ寄れって、会長さん

真美 店？ 千葉のこのお店のこと？

良二 いや、だいぶ前にもちらつと言ってたん
だよ。富良野で遊ばせてる会長さん所有の
店舗があるって。それを『武、この夏、あの
店やんねえか？』って

タイトル…「夏は富良野でやっています」

S E 飛行機の着陸音、空港のざわめき

良二（M） 旭川空港到着。もういったい何回
ここに来ただろう…：

SE クルマのエンジンをかける

良二（M） 飛行機とレンタカーのセットを事前に予約、空港からクルマで富良野へ。五年前に取得した蕎麦畑。それから種まき、収穫、倉庫管理などで年に何度か富良野に来るようになった

SE クルマのドアを閉める。足音、玄関の呼び出し音

岩倉会長 おー、武、来たか。じゃ、俺の軽トラの後について来てくれや

良二 あ、会長さん、ちよ、ちよつと……

良二（M） 岩倉会長。5年前、蕎麦畑の土地を探していた時からお世話になっている。農家の方とつないでくれたし、保管庫も融通してくれた。「自分の畑の蕎麦を提供する」という夢がトントン拍子に実現したのは、この會長さんのおかげ

S E クルマのエンジン音

会長 おお、いいか、出るぞー

良二（M） いつもこんな感じ。ものすごくせ
つかち。だいぶオラオラ感高い。でも、何か
と気にかけてくれる

S E クルマのエンジンを切る音。クル
マのドアを開けて、閉める音

会長 ここだ、言ってたお店。どうだ、いいと
こだろ。国道沿いの角地。富良野の一等地だ。
7年前まで村山さんって人が蕎麦屋をやっ
てたんだ。お客はひっきりなしだったよ。

良二 どうして閉めちゃったんですか？

会長 村さん、心臓が悪かったらしいんだわ。
俺も知らなかったんだ。突然だよ、倒れちゃ
ってな。五年ほどやってたんだけどな。さ、
中、入るか

SE 店舗入口ドアを開ける音

会長 広いだろ。全部そのまま。厨房もな。武
も蕎麦だからいつでも始められるだろ

良二 え？ っていうか、何でそんな急に……

会長 お前が土地探して初めてこっち来たの、
いつだ？ 5年くらい前か

良二 はい

会長 もうその時からいつかここでやってくれ
るといいなって思ってたよ。で、この間、
俺、体壊しただろ。それで思ったんだよ、元
気で動けるのはあとのくらいだろうって。

俺はいろいろ手広くやってて、まあ金には困
ってないが、ずっとほったらかしだったこの
店をなんとかしないかって思ったんだよ

良二 こっちでいないんですか、頼める人

会長 蕎麦をやるってのがいねえ。俺、蕎麦が
好きだ。それにお前言ってただろ、『みんなお
いしいって喜んで食べてくれます』って。だ

から、俺は富良野の蕎麦粉で作る武のうまい蕎麦をこっちでも食べてもらいたいんだよ

良二 でも、俺、千葉でお店やってるんですよ

会長 『夏場はお客さんガタって減る』って言うってなかったか？

良二 そうなんですよ。海沿いの町だからか、夏は蕎麦はなんか人気ないんですよね。だから、これから夏場はガレットとかやろうかなって思ってた……

会長 ガレット？　なんだ、それ？

良二 えーと、クレープみたいなもんです

会長 クレープ？　もっとわかんねえな。まあ、いい。とにかくこの夏はまだやらんだろ。この夏だけ、こっちでやってみろや

良二 はあ……って今返事するんですか？

会長 うん？　決められないのか

良二 当たり前ですよ！　妻にも聞いてみないといけないし

会長 ま、そりゃそうだ。ま、六月の中旬くらいにこっちきて、諸々準備して、七月頭オー

ブンってのが一番いいな。なんせ富良野はラベンダーがあるだろ、六月の終わりから八月頭まで、観光客でごった返すんだ。その時期を逃す手はないからな

良二　今が五月中旬だから……つてもうちよつとしかないじゃないですか

会長　なーに補修やクリーニングはおんじにやらせるからすぐだ

良二　おんじ？

会長　あ？　ああ、俺の弟だ。工務店のほう任せてっから。保健所と水道局のチェックは六月の手配で間に合うさ。居抜きだから食器や厨房器具は全部そのまま使えるから、新しく揃える必要なんもなし！　話早いべ！

良二　そんな、決まったみたいない方……

会長　じゃ、俺は先行ってるぞ。お前はもうちよつとあちこち見とけ。写真撮ったり、食器チェックしたり、必要だろ？　じゃあな

SE　店入口ドアの閉まる音

良二（M） あいかわらず、見事だ、会長さん。
俺、口はさめないんだよな、いつも。

SE 水道をひねる、換気扇をつける

良二（M） ほんと、広い厨房だな。立派な蕎
麦打ち台にのし板。鍋とか一通り揃ってはい
るけど、什器はサイズがバラバラ。間に合わ
せで揃えたような感じ。奥の食器棚、あれ、
使ってたのかな。骨董品みたいだけど……

SE 食器棚のお皿の重なり合う音

良二 はい、器もご立派。いかにも「ザ・蕎麦
屋」だよなー

良二（M） 千葉のお店は食器も白で統一、湯
筒もこんな赤い漆のじゃなくて、白磁のティ
ーポットを使ってカフェ風の雰囲気におだ
わったっていうのに……

良二 はあー……ここでやれってか

SE スマホのカメラのシャッター音

良二 ひとまず、真美に見せよう

SE LINE 送信音

良二 「お店、こんな感じ。昭和っぽいね」と

SE LINE 着信音

真美(LINE) 逆に一周回って新しい感じ！

落ちつきがあって、いいじゃん

良二 えー何でそんな乗り気なんだよ、ったく

SE カタカタッ！（木がぶつかる音）

良二 うん？ 何？ 厨房の奥の方から聞こえ

たよな。え？ あの食器棚が揺れた？ 気の

せいか

SE 食器を洗う音

真美 あれから、会長さんから連絡あった？

良二 いや、まだだけど……

真美 夏だけって、願ってもないお誘いだと思
うよ。居抜きでそのまま使えるのもありがた
いし。っていうか、良ちゃんあれでしょ、一
から自分で始められないのが嫌なんでしょ
良二 うーん、嫌っていうか、美学に反するっ
ていうか……

真美 (笑う) 子どもか！ 持っていくのは包
丁ぐらいで済みそうよね

良二 まあね。いや、行くとになったらの話だよ
真美 いやー、富良野でお店を、ねー

良二 ほんと。ずっと蕎麦屋をやりたくて、あ
の頃週末に蕎麦打ち道場に通ってた。そ
こで富良野の蕎麦畑の話をつたまたま聞いた
のが始まりだったね

真美　で、二人で見に行ったら、圧倒的な大自然に魅了されて、即決だったね

良二　うん、道場の人が会長さんの知り合いだったから、なんか、とんとんと話が進んだよね

真美　旭川空港からのアクセスもよかったし。それから富良野通いが始まったけど、まさかお店までやるなんてねー

良二　いや、だからまだ決まっていなかった

SE　スマホ　着信音

良二　あ、会長さんだ。(ピ)　もしもし、はい、この間があります：：え、いえ、まだ何も：：ええー、あ、はい：：じゃあ、六月の中旬頃行くようにします：：ええ、七月オープンで。：：はい、よろしく願います

真美　あれ？　案外心は決まっていた感じ？

良二　うー押し切られた：：完全に会長さんのペース。「NO」って言っていないから、YES

だよな。もうクリーニングは済ませたぞ、いつから来れる？」って

真美 はい、富良野行き、決定！ 私は仕事があるから、良ちゃん、単身赴任でお願いしましす！

良二 つか、真美、嬉しそうなのはなんで？

真美 いやー富良野ライフで新しい良ちゃんが覚醒するかなって（笑）

良二 は？ なんだよ、それ。ま、一人で行くしかないよな……がんばります

S E 船内のざわめき

良二（M） あわててネットで短期OKのアパートを確保。会長さんが軽トラならいつでも使っているぞって言うてくれたけど、何をするにもクルマがないと困るから、我が家のクルマを持ち込むことに。真美にちよつと不便かけちゃうけど。包丁に布団、身の回りのあれこれを積み込んで、大洗から出航する「さ

んふらわあふらの」というカーフェリーで苦
小牧へ。夜七時過ぎに乗船、十七時間ほどの
船旅。長いっ！ 遠いっ！

良二 バイキング形式のレストランに、ミニ映
画館に、展望浴場か……へー、ちよつとした
観光気分だな。って、そうか、マイカーで北
海道旅行する人たちのためのフェリーだも
んな。家族連れが多くて、皆楽しそう。気分
が上がらないのは俺ぐらいか……

S E 苦小牧到着のアナウンス

良二（M） うーん、あまりよく眠れなかった。
苦小牧から富良野へはクルマで三時間。ナビ
をセットして……と。あーあ、ついにこの日
が来てしまった。はあー

S E 入口ドアが開く音

会長 おー、武、開店準備は順調か？

良二 あ、会長さん、どうも。ひとまず厨房のほうはそれなりにカタチになってきました。ほんと、鍋とかほとんど全部使えます。あとはお皿洗って、定位置決めればなんとか……悦子・瞳 わーなつかしいー。そうそう、こうだったねー

会長 あ、ホールお願いする人、連れて来た良二 え？ そんな話してませんけど……

会長 内地じゃお前一人でやってたかもしれないが、この規模だし、ホールまでは無理だろ。前の村さんの時にやってた悦子さんと瞳さんだ。お盆前までやってくれるって

良二 え……

悦子 島田です。どうも。悦子さんでも悦ちゃんでもいいわよ、年は十八です（笑）

会長 嘘つけ、赤いちゃんちゃんこ、とつくに着ただろ（笑）

良二（M） こういうやりとり、一番苦手……

悦子 こっちは瞳さん

瞳 佐藤です。よろしくー

良二 武田です。よろしくお願いします

悦子 あのね、お酒は井上商店ね。二代目の晋平くんが運んでくれるから。あと、メニューは壁にメニュー札でやってたのよ。ほら、あそこ釘が打ってあるでしょ、あそこにぶら下げて。中山さんって人が、すごい達筆でしゃしゃらーって書いてくれるから、今回も私頼んであげっから

良二 あ、はい。何から何まで……

悦子 なーに、話早いほうがラクでしょ、ねー瞳 そうそう、悦子さんは頼りになるから。私もいーつつも悦子さんに頼りっぱなし

悦子 ぜーんぜん。人の世話焼くの、クセみたいなもんだから（笑）

良二（M） 声でかすぎだし……こういうおせっかいで仕切りたがる人、一番苦手……

SE 包丁の音

悦子 おはよう、武さん

良二 あ、悦子さん、おはようございます

悦子 お、蕎麦を打ったんだ！

良二 はい、オープンは明日ですけど、今日は一通り作って事前にお二人に試食しといてもらおうかなって

悦子 わー！ 東京のお蕎麦食べれるんだー

良二 千葉ですけど……

悦子 私らからしたら、一緒、一緒

良二 はあ……

S E お皿を置く音

良二 こちら、鶏のつけ蕎麦、そっちが肉のつけ蕎麦。で、これが薬味たっぷりぶっかけ蕎麦です

悦子・瞳 わー、おいしそう

良二 どうぞ、召し上がって下さい

悦子・瞳 頂きます！

S E 蕎麦をすすする音

悦子 おいしい！ 村さんのお蕎麦とは全然違
うわ。初めて食べる味だわ

瞳 そだねー。盛付けもしゃれてるわ。今流行
りの、ほら、インスタ映えてやっだね（笑）

良二 よかった。これに温泉玉子もお好みでつ
けようと思ってます。メインはこの三品で

悦子 え、これだけ？

良二 はい。あと、もり蕎麦もちろん。ひと
まず、そんな感じで行きます

悦子 天ぷら蕎麦は？

良二 いえ、うちは天ぷらはやりません

悦子 いやだー、蕎麦屋なのに？

良二 いろんな蕎麦屋がありますから

悦子 いやー内地はそうでも、こっちの人はそ
んなのダメじゃない？ で、ごはんは？

良二 は？

悦子 ごはんとお蕎麦のセットは？

良二 いえ、考えてないですけど……

悦子 だめだめ。前の店の時、お蕎麦とごはん、

あ、雑穀をブレンドしたやつね、それと小鉢
一品ってセットが、特に地元の人にはよく出
たんだよ

良二 そうですか……まあ、前のお店とは違
うんで、ごはんはちよつと……

悦子 へえーそうなの、びっくりだよね、瞳さ
ん

瞳 そうね、あらー……

良二（M） なに、その軽いカルチャーショッ
クですけど的なりアクション。俺の蕎麦はそ
れだけで完成された一品で、ごはんはむしろ
不要なんだけどな……

良二 あとコーヒーも出したんだけど、それ
は様子みながら考えようかと……

悦子（笑）コーヒーはいいわよ。お蕎麦食べ
ながら、コーヒー飲む人いないよ

瞳 そだねー、聞いたことないねー（笑）

良二 いや、千葉では蕎麦&カフェってことで
やって……

悦子（かぶり気味に）いやー内地の人はしや

れてるわ。でも、いらな、いらな。こっちは。ビールとサイダーとジュースで十分！
良二（M） 俺のこだわりがひとかけらも理解されない。俺の美学が、美意識が……

SE 店の前の道路を走るクルマの音

悦子 あー、クルマ増えてきたね。やっぱり七月が近づくと一緒に観光客増えるよね。

瞳 そだねー。そういえばファーム富田のラベンダー、今年もなかなかいい育ちだった、増田さんが言ってたわ

悦子 あー増田さん、富田のレストランで働いてるもんね。武さんはラベンダー、もう見た？

良二 いえ、まだ……

悦子 見た方がいいよ、きれいよー。ま、人でごった返してるけどね。あ、日の出ラベンダー園、知ってる？ 上富良野のほうの

良二 あ、僕、借りたアパート、そっちの方で

す

悦子　そこは町営で入園無料だし、結構穴場なのよ。丘陵一面わーってラベンダー。一回は見といたほうがいいって

良二　ああ、はい。そうですね。余裕ができた
ら

S E　店内のざわめき、ドアの開閉音

瞳　ありがとうございます。またどうぞ！

悦子　こちら鶏つけ一丁！　サイダー一丁！

良二　あ、はい！

良二（M）その「一丁！」っての、勘弁してください。居酒屋じゃないんだから。声大
きすぎだし……

悦子　武さん、こちらの方の肉つけ、まだ？

良二　え？　聞いてないですよ

悦子　言ったけど、さっき。私、厨房回って手
伝おうか？

良二　いえ、こっちは大丈夫ですから！

S E 食器を洗う音

良二（M） オープン初日、無事終了。

良二 いやー、ほんと、びっくりなしでしたね。

千葉ではこんな経験したことないです。ありがとうございますけど、大変だ……

悦子 そだねー、明日はもうちよつとスムーズにやりたいね。私らもうまくコミュニケーションとっていかなくちゃね

良二 え？ ああ、そうですね、お願いします

良二（M） って、誰の店だよ、ったく。俺、絶対、悦子さんに使われてるよ……

S E 裏口のドアが開く音

晋平 おはようございます！ 井上商店です！ ビールお持ちしました！

良二 ああ、晋平さん、ありがとうございます。

その角に置いてもらえますか

良二 オープン三日目。毎日朝八時半にアパートを出て、途中スーパーで食材を買ってから出勤、蕎麦を仕込むというリズムができて来た。お酒は前日に頼んでおくと、朝十時半ごろ、井上商店の二代目の晋平さんが届けてくれる。晋平さんは、俺とほぼ同年代で何かと気が合う

晋平 いやー、大繁盛ですね。昨日昼間前を通ったら駐車場にクルマが一杯でしたもん

良二 おかげさまで。ただ、千葉の店と勝手が違うから、なんかバタバタで。あ、海外の方も多くて、びっくりしました。

晋平 ここ数年中国からのお客さん、すごく増えてるみたいです。あ、あと、だいぶ、あれでしょ。内地と違うでしょ。人も文化も

良二 そう！

晋平 俺、実は東京の大学へ行ったんですよ。こういう狭い町で家業継いで一生終わりにくくないって。だから武田さんの感覚、何かわかります。だいぶ、独特でしょ、人の感じ（笑）

良二 そうそうそう（笑）

晋平 就職も東京でした。離れてわかるなんと戻ってきたやいました。好きなんですよねー、富やらで……。やっぱ、好きなんですよねー、富良野が。北海道のへそだし（笑）。空がバーン！どーんと十勝岳。狭い町だけど、でっかいでしょ、スケールが。あと、人はぶっきらぼうだけどあったかいし……

良二 ぶっきらぼうっていうか、圧が強いつていうか……

晋平 え？

良二 いや……（笑）

SE 入口ドアの開く音

悦子 おつはようございまーす！ あ、晋平くん、おはよう！

良二（M） 悦子さんと瞳さんは開店三十分前の十一時に出勤し、ホールのほうの掃除を担当してもらっている

晋平 悦子さん、はりきってますね！

悦子 そりやそうよ、連日お客さんいっぱい、大繁盛なんだから！ ね、武さん！

良二 あ、はい

悦子 そういえば、ごはんメニューはまだ？

昨日も何人かお客さんに聞かれたんだよ

良二 ああ、今のところは：

S E 店内のざわめき

悦子 あ、はい、お冷ね、今お持ちします！

客1 こっち、鶏のつけそば二つちようだい！

悦子 はい

客1 あれ、ごはんはないの？前あったよね？

悦子 ごめんねー。やれって言うてはいるんだ

けどね、普段は千葉でしやれたお蕎麦屋さんやってるから、こだわりが強くてねー(笑)

客1 そうかい、でも、ほんと、蕎麦はうまいよ

良二 そっち、早くオーダー通して！

悦子 え、私？ はいはい

良二（M） 悦子さんはお客さんと大きな声でしゃべる。いらぬこと、余計なことをベラベラと。もう本当に、勘弁してくれ……

SE レジの集計音

良二（M） お店は昼営業のみ。お昼時間をずらしてくる地元の人や観光の方がたくさんいるので、十六時までとした

良二 お釣り分を除いて、一、二、……。はい、金額ぴったり合いました。今日もなかなかの売り上げ。ありがとうございます。やっぱ、観光地のハイシーズンってすごいなー

SE カタカタツ（厨房の奥から）

良二 あ、音……これ、前、お店見に来た時にも聞いた音だ

S E カタカタタツ

良二 マジで？ 今度はやたらハッキリ聞こえたんだけど？ ……あの奥の食器棚から聞こえたよな

S E 靴音（食器棚に近づく）

良二 このあたりから聞こえたよな。この食器棚、ほんと古いなー。立派な彫りも入ってるし…

S E カタカタツ カタカタツ

良二 やっぱり。この引き出しから音がする。なになに？ 何の現象？ もしかして、やばいやつ？ いや、ちよつと待ってよ…

S E スーツ（引き出しが少し開く）

良二 うわっ、勝手に開いた！　まずいでしょ
ー。何だろう：：ちよつと失礼します：：

S E　しゃもじを取り出す音

良二 え、しゃもじ？　これが中で勝手に動い
てたってこと？　マジで？

S E　しゃもじを戻し、静かに引き出し
を閉める音

良二　：何も見ませんでした、何も：：あ、も
う六時前か。さ、帰ろう！

S E　裏口ドアが開く音

晋平　おはようございます！　ビール持って
きました！

良二　ああ、晋平さん、おはよう。

S E ビールのケースを置く音

晋平 よいしょっと。ここで大丈夫っすよね

良二 うん、ありがとう。あ、そうだ。一つ聞いてもいいですか

晋平 はい？　なんででしょう？

良二 ここの前の店主、村さん、でしたっけ？

晋平 うん、村山さん。が、どうかしました？

良二 いや、どんな人だったのかなって

晋平 とってもいい人でしたよ。体が大きくて、穏やかで、いつもニコニコして

良二 この世に恨み残してみたいなことは？

晋平 は？　何言ってるんですか？　全然！

え、もしかして、何か出たとか（笑）

良二 い、いや、そんなわけないし（笑）

晋平 村山さん、奥さんを早くに亡くして、大学生の娘さんと二人暮らしで。娘さんもいい子でね、時々手伝いに来てましたよ。悦子さんと瞳さんとも仲良しでね。なんかいいチームだなって思ってみてました

良二 そうなんだ……俺、悦子さん、ちよつと
苦手で。何というか、ボス感半端ないって
うか、俺のほうが使われてるっていうか……
晋平 ま、確かにパワーありますよね（笑）
でも、裏表なくて、ちやっちやとよく動いてガ
ンガン仕切って、頼りになるじゃないですか。
俺の母親もあんな感じっす

良二 そうなんだ……

晋平 大丈夫、慣れれば。村山さんも十分使わ
れてまよ（笑） 『ちよつと村さん、ここのテ
ーブル邪魔！ 場所変えるわよ！』 『はいは
い』 みたいな（笑）。でも『あの人がいるから、
俺作るのに専念できて助かるわ』って

良二 はあー。俺の器じゃなかなか無理なんだ
よなー

SE 入口ドアが開く音

悦子・瞳 おはようございます！

晋平 おはようございます。じゃ、俺はこれで！

良二 はい、どうも！

悦子 武さん、おはよう

良二 おはようございます

悦子 あのさ、ごはん、いつから始めるか決めた？お米は地元のお米屋さん、すぐ手配できるところから。壁のメニユー板はもう中山さんに頼んでるし

良二 え？ まだ、何も……

悦子 小鉢ものは任せて。私と瞳さんで交代で家で作って持ってくるから。ね！

瞳 ああ、ごはんの支度ついでにちやっとやるから、心配しなくて大丈夫よ。あ、時給一時間分プラスだね（笑）

悦子 そうそう、それでオツケー（笑）

良二 あ、あの！ ちょっともうそのへんにしてもらっていいですか

悦子 え？ なにが？

良二 勝手に話を先へ先へと進めないでもらえますか。俺、一言も頼むって言ってないですよ。困るんです！ ここ、俺の店ですから

悦子 え、いや、私らは良かれと思って……

良二 そういうの、いらないます！ ホールだ
けお願いしたいです。ほんとそれだけです！
悦子 わかったよ。悪かったね、うるさくて

S E 店内のざわめき（中国語混ざる）

良二 こちら、蕎麦湯です。えーと、シェーシ
エー

中国人客 シェーシェー、サンキュー！ オイ
シイでした。アリガトゴザマス！

良二 こちらこそ、ありがとうございます

客2 大将、ほんと、うまいな。こういうつけ
蕎麦初めて食べたよ

良二 お口に合ってよかったです

客3 （オフ）あー、ごはんものはないの？

悦子 ええ、ないんですよ。すみませーん！

良二（M） 何で俺のほうを見る？なんだよ、
俺が悪いのか？ こだわりすぎだって言い
たいのか？

S E レジの集計音

良二 一、二、三……バツチリ！ 今日もたくさん来て下さいました、と。さ、帰ろう！

良二（M） あの謎のカタカタ音は、決まって夕方五時半を過ぎた頃に始まる。一度、いつそしゃもじを処分してしまおうと思ったけど、取っ手がその引き出しだけ取れててうまく開けない。しょうがないから、なるべく五時半になる前に店を出るようにした

S E アパートのドアの鍵を開ける。ドア開ける。靴を脱ぎ、電気をつける。スーパーの袋や荷物を置く音

良二 ただいま、俺！ お疲れ、俺！

S E 缶ビールを開ける

良二 はい、今日もがんばりました、俺。カン
パイ！

良二（M） その後悦子さんたちとは最小限の
言葉しか交わしていない。あれこれうるさく
言われなくなったけど、ホールでの客さばき、
前ほどバシバシやってくれなくなって、それ
はそれでちょっと困ってる……

SE スマホ 着信音

良二 あ、真美だ。もしもしー？

真美 良ちゃん、お疲れー！ どう？ うまく
いってる？

良二 うん、まあ、なんとか……

真美 あれ？ だいぶローテンション。お疲れ
ですなー

良二 もう、ほんとすごいよ毎日。日に日に観
光客が増えてきてるしね

真美 ああ、もうすぐラベンダー祭だもんね。

花火大会もあるんでしょ

良二 そうらしいね。もうなんか疲れちゃって、ラベンダーとかそんなのどうでもいい感じ。もう帰りたいたいよ

真美 なーに言ってるの！ あ、わかった、俺様の完全なる世界がうまく構築できない：
：とかでしょ（笑）

良二 なんだよ、それ。いや、あのね、富良野の女の人、最強だよ、マジで

真美 （笑）頼りになるじゃん。私もそっちに行きたいけど、お盆前は休みとりづらいし

良二 いいよ。だいたい来て何するの？ちよつとお店寄って、ラベンダー見て、あちこち見て回ってお気楽に二、三日ぐらいで帰るとかだったら全然来なくていいよ

真美 何それ？なんで私に当たるの？もう心配するのやめた！勝手に一人で頑張つて下さい（プーッ プーッ）

良二 あー。でも、ほんと自分のことでもいいっぱいいっぱいなんだよ：

SE 店のドアが開く音

会長 武、来たぞ！ うまい蕎麦食わせろー！

良二 あ、会長さん、いらっしやいませ

SE 器を置く音

良二 はい、肉のつけ蕎麦 温泉玉子付きです

会長 お、サンキュー

SE 蕎麦をすする音

会長 いやーほんと、武の蕎麦、うまいわ。よ

かったよ、この夏やつてもらえて

良二 そう言ってもらえると、俺も来た甲斐あったってもんですよ

会長 ただ、ちよつとあれだな。(小声で)悦子
さんたちとうまくいってなさそうだな

良二 はあ……俺がうまく頼めなくて……

会長 前の店では、悦子さんもつとガンガン仕

切ってたぞ。親みたいな年代だからって遠慮するな。言いたいことはちゃんと見え！悦子さんも言いたい放題だろ

良二 はい、いえ、もう、ほんとに……

良二（M） さすが、会長さん。ゼーんぶお見通し。「言いたいことは言え！」か。この間ガツンと言ったつもりだけど、よけいややこしい感じになっちゃったしな……

S E 時計が毎時三十分を告げる音

良二 あ、やばい、五時半だ……早く出ないと、あれが来ちゃう……

S E カタカタツ

良二 はい、来たー……あー、もう……

S E カタツ カタカタカタ カタツ

良二 うん？　いつもとりズムがちよつと違う
よ　う　な　：　：　あ　の　：　：　こ　ん　に　ち　は　、　カ　タ　カ　タ　さ
ん　：　：　な　ー　ん　て　：

S E　カタン　カカタカッタン

良二 え？　なんか陽気な感じ？　ラテン系？
つ　て　こ　れ　っ　て　返　事　し　て　く　れ　た　の　か　？　あ　、　聞
い　て　み　よ　う　か　な　、　あ　の　：　：　カ　タ　カ　タ　さ　ん　、　ご
は　ん　、　や　っ　ぱ　出　し　た　ほ　う　が　喜　ば　れ　ま　す　か　ね

S E　カタカタカタカター（賑やかに）

良二 （ため息）やっぱそうですか：：って、俺
は　誰　に　相　談　し　て　る　ん　だ　：

S E　引き出しが開く音

良二 わっ！　開いた！

SE しやもじを取り出す音

良二 えーと、失礼します。ほー、いやーなか
なかの年代もので。飴色でつやややかで、おー、
握りやすいじゃん。(ため息)明日、悦子さん
に相談してみるか

SE 走る息遣い、走る靴音

良二 ゴール！ はー！ 朝の空気は最高ー！

良二(M) 千葉では毎日走るのが日課だった。
こっちでも毎日走るつもりでウェアとシユ
ーズを持ってきてたのに、あまりにバタバタ
で余裕がなくて、走ることを忘れてた

良二 日の出ラベンダー園って、ランニングコ
ースにうってつけだったんだな。そんなこと
を考える余裕もなかったな

良二(M) 早朝のラベンダー園。人はほとん
どいない。空気もピリツとして気持ちいい。
展望台まで駆け上がって振り返ると、見事な

ラベンダーが視界いっぱいに広がる。色とりどりの夏の花との競演は圧巻としか言いようがない。反対側には、大迫力の十勝岳

良二　ほんとすごい！　一面のラベンダー、どわーっと広がる空、そして山。そして、ちっぽけな俺、なーんてね

晋平（回想）　空がバーン！　どーんと十勝岳。狭い町だけど、でつかいでしよ、スケールが。あと、人もぶっきらぼうだけどあったかくて良二　あったかくて：か。そうだよな。富良野は富良野のやり方で、ってことか。さあ、戻って支度してお店行こう！

S E　椅子を動かす音、掃除機の音

悦子（オフ）　そうそう、あれは吉見さんがやりた
いって言うから、いや、私はね：

瞳（オフ）　ほんと面倒見いいんだから

良二　悦子さん

悦子　はいはい、掃除してますよ。口も動いて

るけど、手も動いてるよ、ちゃんと（笑）

良二 相談があるんですけど。あの、お米……

悦子 （かぶり気味に）おー、やる気になった？

良二 そ、そうですね、要望も多いことだし

悦子 いやー、武さんわかってくれると思っ

たよ！ 米屋さんはすぐ手配できるし、あ、

メニューは中山さんが今日あたり持つてくるって言ったから、ちょうどよかったわ

良二 え？ そうだったんですか……（笑）

悦子 ふふ、「常に抜かりなし！」が私の性分

（笑） あ、あとは小鉢だね。瞳さん、明日の

は私がやるよ

瞳 わかった、その次は私ね

良二 ってことは、もう明日からメニューに加

えられるってことですね（苦笑い） なんか、

すごいなー

悦子 よかったわー。常連さん、喜ぶわー

SE 店のざわめき

悦子 (オフで) いやー、久しぶりに顔見れて
よかったわー。(良二に向かって)あ、武さん、
こっち、ちよっといい？

良二 はい？

悦子 この人、優香ちゃん。村山優香ちゃん。

前の店主の村さんの娘さん

良二 ああ、どうも。いらっしやいませ

優香 お蕎麦、すごくおいしくいただきました

良二 ありがとうございます

悦子 あ、いらっしやいませー。(オフで) どう
ぞこちらへ

良二 あ、お近くにお住まいで？

優香 いえ、旭川のほうに。そっちでホテルの
レストランで働いてます。今日は休みで、す
っごく久し振りに来てみました。ラベンダー
でも見ようかなって、ドライブがてら

良二 ああ、明日はラベンダー祭りだとかで、

富良野は盛り上がってますよね

優香 そう、毎年この時期すごいんですよ。で、
たまたまこの前の国道通ったら、お店やっ

てるのが見えただんで、寄っちゃいました。中もほとんど当時のままでなんか嬉しいです

良二 もうそっくりそのまま使わせて頂いてます（笑） 普段は千葉の方でやってるんで、この夏限定なんですけどね

優香 そうなんだ、残念。あ、そういえば、おへらさん、活躍してますか？

良二 え？ おへ…？

優香 （笑）えーと、内地だと「しやもじ」でしたっけ、確か。年季の入ったしやもじ、まだあります？

良二 （大きな声で）おお！（つい大声になってしまい、あわてて小さ目に）ああ、はい。あります、あります。え、あれって…

優香 なんかね、父がすごく大事にしてたんですよねー。父は「カタカタさん」って言うんですけど、なんでだろ？

良二 うわっ！（また自分の大声にあわてて）あ、すいません、ああ、そうなんです。あれ、お父さんが買ったのかな

優香 あ、厨房の奥のほうに古い食器棚ありませんでした？

良二 あります、あります

優香 父、骨董が好きで、骨董市であの食器棚を衝動買いしちやっただんですよ。全然必要なのに、「観賞用だ」って（笑）で、その引き出しに入ってたんですって

良二 そうだったんだ……

優香 父は『エゾマツでできた特別なものらしいぞ』って言って言って大事にしてみました。そのカタカタさんでごはんよそうとおいしいって良二 へえー……あ、そうそう、明日からですけど、ごはん出すんですよ

優香 じゃ、まだまだあのおへらの出番はありますね

SE 店のざわめき

悦子（オフ） ええ、今日からなんですよ、ごはんセット

瞳　こちら一番さん、鶏つけごはんセット一丁
良二　はーい！

悦子　三番さん、ぶっかけ蕎麦、こっちもセツトで！

良二　はーい！

良二（M）　いやー、ごはんセットのよく出ること。悦子さんの予想通りだ、くやしいけど。今日の小鉢はれんこんのきんぴら。すごく濃い味付けでびっくりしたけど

悦子（回想）　こっちはこういうの普通だから！

良二（M）　はいはい、仰せの通りに

良二　あ、悦子さん、厨房入ってごはんセットの用意お願いします

悦子　え、厨房は武さんじゃ…

良二　いや、もう手回らないから。任せまーす

悦子　よーし、がんばっちゃうよー（笑）

SE　ドアが開く音

会長　おお、にぎわってるな！

良二 あ、いらっしやいませ

会長 道、すっごいぞ、大渋滞だ。今日はラベ
ンダー祭だもんなー。あ、俺、ぶっかけ蕎麦
ちょうだい

悦子 あ、会長さん、ごはんセットあるのよ
会長 おお、始めたか。じゃ、セットで！

S E 蕎麦をすする音

会長 いやーほんと、蕎麦がうまい！ ごはん
もうまい！

悦子 きんぴらは？

会長 もちろん、ベリーグッド！（笑）

悦子 サンキューベルマツチ！（笑）

良二（M） あれ？ こういうやりとり、あん
ま嫌じゃなくなってる、おかしいな……

会長 なあ、武

良二 はい？ （オフで他の客のほうに向かっ
て）あ、ありがとうございました！

会長 来年も夏はここでやってくんねえかな

良二 え？ いやー、えーと（笑） 今夜、花
火見ながらでも考えまーす

S E 花火が上がる音

良二 晋平さん、悪いね、つきあってもらっち
やっつて

晋平 全然！ 毎年嫁と娘がママ友たちと大勢
で見に行っちゃって、俺いっつも留守番で。
だから実は初参戦なんですよ。男二人もいい
もんですね！

S E 一段と大きな花火の連続音

良二 おお、なかなか迫力あるね！

晋平 すごいっすね！ ねー武田さん、いいで
しょ、富良野

良二 ……うん、ほんと。あ、写真撮って真美
にも見せよう

S E シャッター音、LINEの送信音

良二 富良野の花火！　すごいよ！　きれいだ

よ（この間はごめん）

真美（LINE）　あ、今日だったんだ。ほん

と、きれい（全然気にしてないよ）

良二 「夏は富良野で」っていうのもいいかも
ね

真美（LINE）　えーっ！！！！　ふーん。ま、

ありかもね（笑）

良二 来年は見よう。二人で、花火

M　花火の音

（終わり）